

(別紙1)

地域発 元気づくり支援金 令和4年度重点テーマについて

県全域重点テーマ

✓2050 ゼロカーボンに向けた取組の推進 (R3~)

市町村や住民が一丸となり、2050 ゼロカーボンに向けた意識や行動の変容を促す取組を推進する。

- ・住民一丸となった脱炭素まちづくりの実現に向けた取組
- ・地域資源を活用した再生可能エネルギーの普及拡大
- ・信州プラスチックスマート運動の推進

★プラスワンアクション★

元気づくり支援金を活用するすべての事業において、マイボトル・マイバック持参によるゴミの減量化など、団体の創意工夫によるゼロカーボンを意識した環境にやさしい行動に取り組んでいただきます。

✓地域防災力の向上 (R2~)

地域の支え合いによる避難体制の構築や、地域に残る災害履歴の伝承などの取組を促進させることにより、地域の力で災害からの「逃げ遅れゼロ」を目指す。

- ・地域住民の避難体制の構築と防災訓練の実施
- ・地域の子供たち等に対する防災教育・災害履歴の伝承事業の実施

地域選択テーマ

✓若者のU I Jターン就業の促進 (R2~)

若者の減少に起因する地域課題の解決を図るため、地域の企業や経済団体、行政機関、教育関係機関・団体など多様な主体が連携して、若者のU I Jターン就業を促進する。

- ・早い段階から地元企業を知るキャリア教育
- ・県外に進学した学生の地元就職への誘導
- ・県外在住の若者の県内移住の促進

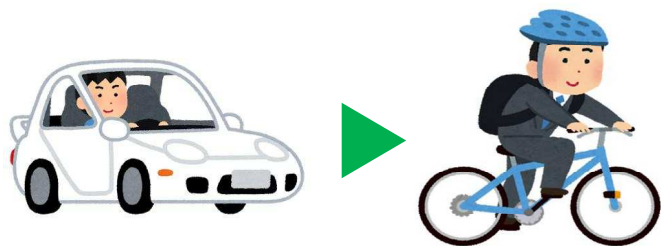
2050ゼロカーボンの実現に向けた プラスワンアクション



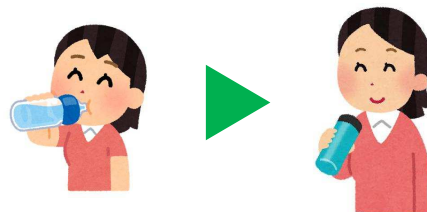
地球温暖化に起因すると考えられる災害や猛暑日が増加し、気候変動はわたしたちの身近な課題となっています。

主な原因とされるCO₂の排出削減のため、環境にやさしい“プラスワンアクション”をお願いします。

近場の移動は、徒歩や自転車で



イベントに参加するときは、
飲み物はマイボトルで



買い物をするときは、
エコバックを持参



イベントに合わせて、
花や木を植える



その他にも…

- エアコンの設定温度を見直す
- 公共交通機関を利用
- 省エネ製品を選ぶ
- 使い捨てプラスチックの使用を控える
- 必要な分だけ買う
- 地元の製品を選ぶ
- 食べ残しゼロ

など